

理事長あいさつ



理事長 船越 昇

平成17年4月に社団法人として出発しました精華町シルバー人材センターは、この1年間も順調に事業を伸ばすことができました。受注件数は約700件と前の年より15%増え、契約金額は約7500万円と24%増えました。240人の会員に6000万円以上の配分金をお支払いしました。配分金総額も31%増やせた勘定です。

受注件数が増えたのは、一般家庭からの受注の増加によるものです。これは会員の誠実な仕事ぶりが利用者に評価されてシルバー人材センターの知名度が高まり、リピーターがふえてきているのではないかと見ています。

一方、契約金額が増えたのは、精華町からの仕事が増加したためです。精華町の仕事は、設立当初から役場庁舎の掃除や祝園駅通路の清掃作業など多くの業務を引き受けてきました。平成17年度からは水道事業の検針の仕事も請けることとなりました。今後もシルバーセンターを活用いただけるよう一段と努力して参ります。

また、平成17年度も仕事に関してのもめごとや事故がほとんどありませんでした。これも、会員の皆様方の精進の結果であると感謝しています。全国のシルバーでは、平成17年度に53件の死亡又は入院事故が発生しています。工作中的事故で20人が死亡し、現場往復時の交通事故で26人亡くなりました。しかも、事故件数は毎年増え続けています。安全就業の徹底には今年も全力で取り組みますが、会員の皆様も気持ちを引き締めて、軽微な事故も無くすようがんばってください。

センターの運営は、会員の自主性を最大限に発揮してもらうことを原則にしています。地域班は会員の住所別に、職域班は同じ仕事をする者同士が連帯して、センターを支える大事な組織です。特に昨年秋結成された地域班は、地域とセンターのパイプ役を果たすほか、会員相互の意思疎通を図る組織として期待しています。職域班は仕事の見積りから会員の手配、完成後のチェックまで、仕事処理のすべてを任せられる組織に育ててほしいと願っています。

なお、2年間余り慣れ親しんだ光台一丁目の事務所は、6月17日にJAやましろ精華町支店旧庁舎の2階に移転します。1階には保健センターが入居します。新事務所のスペースは今までより1.5倍広くなり喜んでいますが。これを機に、会員の皆さんが集まりおしゃべりを楽しめる「シルバーサロン」の部屋が取ればいいなと思っています。お気軽にお立ち寄り下さい。